

TNR について

○初めに

地域猫のお世話をされている方に注意していただきたいのは、野良猫を捕獲器で捕まえる行為は、保護目的（避妊・去勢手術のための一時保護を含む）の場合のみ認められていますが、保護を目的とした捕獲の場合でも捕獲器に入った猫を長時間炎天下の中で放置するなど、猫をむやみに傷つけたとみなされると、処罰の対象となる場合があります。ですので、気象条件によっては少なくとも1～2時間おきくらいに様子を見るようにしましょう。

また、何も知らない人がよくわからず触ってしまい怪我をしてしまう可能性があるため、捕獲器の設置の際には貼り紙で、「猫を保護するために置いています。触らないようにお願いします。猫が入っていたら連絡をください。電話番号〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇」などと書いておきましょう。

捕獲器を設置する場所ですが、私有地である場合は、その家の住民などに事情を説明して事前に許可を得ましょう。また、公共の場所に設置したい場合はスペースを管理する自治体に相談するようにしましょう。

これを怠ると、その後のトラブルの原因となる場合があります。

捕獲前の事前確認

TNR を実施する場所は、自分が餌をあげ、お世話をしている場所ですか？

いいえ

その場所で、お世話をしている方が

誰なのかわかっていますか？

その方が TNR について理解・納得を

し、協力を得られていますか？

はい

その場所に、全部で何匹の猫が居ますか？

はい

いいえ

授乳中の猫は居ますか？

→捕獲からリリースまで3日程かかります。

その間、子猫は母猫と離れ離れになります。

子猫だけで大丈夫ですか？

お世話をしている方の同意が得られないと、トラブルになります。
お世話している方が居ない場合、その後の猫のお世話はどうなりますか？
この問題が解決しないと TNR は難しいです。

※正確な頭数を把握する事が、TNR 成功の秘訣です。

捕獲計画を立てる

① 捕獲したいターゲット猫の餌付け。

猫が出てこないと捕獲できません。餌の時間を決めて数日間餌をあげましょう。

人が行くと猫が出てくるようになったら、手術の予定を立てましょう。

② 手術の予約をする。

③ 予約日前日までに、猫を捕獲する。

手術前日の夜 22 時以降は餌をあげない

④ 手術当日、予約時間までに猫を搬送する。

⑤ 手術後猫を迎えに行く

⑥ 猫をリリースする。

手術翌日に猫を元の場所に帰す。

餌の時間が決まっているなら、なるべく同じ時間帯にしてあげてください。

リターン時、怖い思いをしているので、とにかく逃げたい一心で走り去る事が多いです。飛び出して行く先に危険がないよう、最新の注意を払ってあげてください。

その後は、いつも通りにお世話をしてあげてください。

怖い思いをしているので、数日姿を見せない場合もあります。

捕獲器を使用した捕獲について

捕獲器のセッティング

捕獲器がケージ代わりとなるので、下にペットシートを養生テープで貼り付けます。

(貸し出された捕獲器には、ガムテープを使用しないで下さい。糊が残り取れません)

捕獲器の中で糞尿をする子も多いので、ペットシートは必ず使いましょう。

捕獲器の周りを新聞紙などで包むか、布で覆いましょう。

(猫の目線を遮る事で、捕獲後猫が大暴れする事を防ぎます。暴れて怪我をしたり、最悪の場合死亡するケースも報告されています。)

設置の仕方

1、においの強い美味しい物

いつも与えているご飯＋スペシャルフード

匂いの強い缶詰。

干物や唐揚げなどを細かく切って投入。鰹節やスルメなどもオススメ。

鳥の照り焼き、うなぎのかば焼きなど人間が食べるもので猫に害のないもの。

2、餌は捕獲器のギリギリ奥に設置

ふみ板を踏むと、入口が閉まるので、板を踏むように工夫します。

※必ず、空腹状態で捕獲する事！！！！

捕獲器の中に誘導するには、空腹時でなければなりません。捕獲器の中の餌に釣られなければ、捕獲はできません

※ここで餌付けが重要になります。自らが餌を与えている時間に捕獲しましょう。

踏み板の奥に、餌を置きます

必ず、捕獲器の先端部ギリギリ奥に置く事。

★捕獲器の中へと誘導する為、捕獲器の入り口付近に、一口だけちゅ〜るなどの撒き餌をするのもポイント。

その時に使用する餌皿は、ワレモノ注意🚫です。捕獲器に入った猫は暴れるので、陶器などの餌皿は絶対に使用しないでください。怪我をします。

捕獲器の手前に餌を置いていると餌だけ取っていくことが考えられます。

また、捕獲器の扉が中途半端に閉まって危険です。

3、捕獲器を毛布や段ボールなどで囲う

猫は身を隠せる場所を好むので、捕獲器に布をかぶせるなどして外から見えないようにしましょう。

夏場の場合、通気性のよい物をかぶせて高温になりすぎないようにしてください。

4、なるべく、平らな場所に設置する。

5、他の人に協力してもらう

捕獲器の周囲に人がいたら猫が警戒してしまうので、なるべく近づかないように協力してもらいましょう。

また、捕獲器の近くのお宅が餌付している場合、捕獲器を置かせてもらったり、餌をあげることを一時やめてもらうなど、お願いしましょう。

6、捕獲後について

猫が捕獲器に入ったら、目隠し布をかけたまま、保管場所に移動して下さい。

(目隠し布が無いと、捕獲器の中で逃げ出そうと必死に暴れます。落ち着かせる為にも、目隠し布は必ず用意してください)

まれに入口の扉が開き(猫が一所懸命逃げようとして、こじ開ける)猫が逃げる場合がありますので、捕獲後は結束バンドや紐、針金などで扉が開かないようにしましょう。

手術予定日まで時間がある場合、網の隙間から餌をあげて下さい。

缶詰(ウエットフード)だと、水分も一緒に補給できるのでおススメです。

病院に搬送する場合にも、必ず目隠し布をかけて移動して下さい。

注意すること

捕獲に一度失敗すると捕獲器に対して警戒心が高まり、再度近づかなくなる可能性がありますので、十分準備してから捕獲器の設置を行うようにしてください。

また、他の猫が誤って入ってしまったら匂いが残ってしまい警戒するようになるので、一度洗って匂いを取ったり、動物に害がない除菌スプレーで匂いをふき取ったうえで再度設置することをお勧めします。

設置後の注意点

季節や天気によって、捕獲器に長時間閉じ込められていると熱中症や凍死になることが十分に考えられます。

ですので、気象条件によっては1時間おきくらいに様子を見るようにしましょう。

捕獲器に置いた餌の交換も定期的にしておきましょう。気候によって熱や湿気で餌が傷んでしまうので、早めの交換を心がけましょう。